

平成27年度委員会活動評価に対する各委員会の意見への対応(案)

分類	各委員会の意見	対応案
評価項目等の活動評価の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会評価は昨年度が初めての実施であり、2年目ですぐ変更するのめいかがなものであるかと思う。継続して、今の形で実施すればいいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初年度は試行的に実施しており、必要に応じて修正することを想定していた。また、他の委員会からは変更の意見が多いため、一部見直しを行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)年間活動計画の進捗度～(5)県外調査の充実度までは自分たちの計画の話。本来の評価の趣旨としては、(6)以降に意味があると思うが、設問の仕方などに工夫が必要。 ・参考人招致や公聴会は、実施していない委員会もあるので、どうしていくべきか、委員長会議などで話をしていくことも必要。たとえば項目を1本化しても良い。 ・(7)公聴会の活用度について、実施しなければ評点できず、開催をした場合のみ評価となっていることから、他の評価項目と別にした方が平均化しやすいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考人招致、公聴会、みえ現場de県議会、みえ高校生県議会は、それぞれ多様な意見を聞き、調査・審査に活用するものであることから、評価の視点とし、一つの項目にまとめる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目については、(8)施策への反映度は評価が難しい。また、評価結果を受け取る側として見た時には、自由記載の意見のほうが参考としやすい。 ・(8)施策への反映度の部分で、委員会で提言したことが、全て施策に反映されるということはないことから、それを反映度としてどこまで評価することができるのか疑問である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策への反映については、自由記載の意見の方が参考にしやすいとの意見があり、反映した実績を記述することとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「評価の自由記載欄」では、各委員の主観的な評価が列記され、その中には相反する意見もでてくるものもある。また、当該委員会ではかわからない評価理由が記載されていることがあるなど、外部(県民)からみてわかりづらい内容になっていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックシートは、各委員の自己評価のため、相反する意見が出ることはやむを得ない。最終的にまとめる「委員会活動評価総括表」には、各委員の意見はそれぞれ掲載することとし、欄外に『各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。』と表記し、委員会全体の意見でないことを明示する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「みえ現場de県議会」などで話し合われたことで、各常任委員会に関係のある部分を、どこかできちんと伝えないと、意識できないと考えるので、そのあたりの調整をどうしていくのか。広聴広報会議の検討内容が各常任委員会に伝わるような調整をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広聴広報会議に、この意見を伝え、検討を依頼する。